

<p>課題</p>	<p>居住支援は対応すべき分野が多岐にわたっていること、空き家は旧耐震物件や改修工事が必要な物件も多いため、これまで実施してきた空き家サブリースを「空き家×居住支援サブリースモデル」として、住宅確保要配慮者にも対応できる仕組みづくりや、専門対応できる「空き家×居住支援コーディネート会議」が必要。</p>
<p>目的</p>	<p>空き家相談窓口に専門的な知見を有している専門家などで構成する「空き家×居住支援コーディネート会議」を空き家相談窓口に設置し、空き家と福祉の相互対応ができる仕組みの検討が必要であり、空き家をマッチングするための「空き家×居住支援サブリースモデル」の構築、「空き家×居住支援コーディネート会議」について検討した内容などをハンドブックにまとめ全国の空き家相談窓口でも運用可能にできる仕組みの検討を実施した。</p>
<p>取組内容</p>	<p>①「空き家×居住支援サブリースモデル」の検討会の実施（オンライン全3回） ②「空き家×居住支援サブリースモデル」実施に向けた空き家改修等の調査 ③「空き家×居住支援コーディネート会議」に関する検討会の実施（オンライン全5回） ④「空き家×居住支援コーディネート会議」に関するハンドブックの作成</p>
<p>成果</p>	<p>①「空き家×居住支援サブリースモデル」の問題課題整理と仕組みづくり ②「空き家×居住支援コーディネート会議」の問題課題整理とシステム構築 ③「空き家×居住支援コーディネート会議」に関するハンドブックの作成</p>

取組内容

- 「空き家×居住支援サブリースモデル」の検討会の実施
住宅確保要配慮者（低所得者・身体障害者・高齢者等を対象とする）に対して空き家を貸出すサブリースモデルを展開できるようにするために、これまでのノウハウをもとに事業者や有識者と検討し、スタンダードなモデルの構築を目指した。
- 「空き家×居住支援サブリースモデル」実施に向けた空き家改修等の調査
約10年間の空き家物件の改修工事等の見積り内容を調査し、見積り取得件数の傾向や費用の調査をとりまとめ、傾向を把握した。
- 「空き家×居住支援コーディネート会議」に関する検討会の実施
空き家相談窓口に「空き家×居住支援コーディネート会議」組織を付加することで、居住支援（住宅確保要配慮者）に必要な専門団体や有識者と横断的な連携ができる仕組みを検討した。
- 「空き家×居住支援コーディネート会議」に関するハンドブックの作成
今年度の取組内容をもとに、幅広い相談対応ができる仕組みづくりの参考となるハンドブックを作成した。

■「空き家×居住支援サブリースモデル」の検討会の開催



■「空き家×居住支援コーディネート会議」の検討会の開催



主な成果物

■「空き家×居住支援コーディネート会議」に関するハンドブックの作成

空き家総合相談窓口と福祉相談窓口を融合させるために様々な課題を検討。情報をまとめ、今後取り組む団体等の参考資料となるようハンドブックにまとめた。

